取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite XUB2595WSU

重要

ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

ENERGY STAR

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意下さい。

- ■ モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- ■ 電源コードおよびケーブル類は付属のものを使用すること。

国際エネルギースタープログラム

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品は工場出荷時の設定で国際エネルギースタープログラムの基準に適合しています。
工場出荷時の設定を変更または他の機能を有効にすると消費電力が増加し、国際エネルギースタープログラムの基準を超える可能性があります。

- ■ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- ■ 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- ■ 本書に記載した会社名，商品名は、各社の商標または登録商標です。
- ■ 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のモニタの点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか

- ●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- ●キャビネットが異常に熱い。
- ●煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- ●使用中に異常な音や振動などがある。
- ●その他の異常や故障がある。

⇒

ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをはずし、必ず販売店またはiiyamaサポートセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはiiyamaサポートセンターにご相談ください。

もくじ

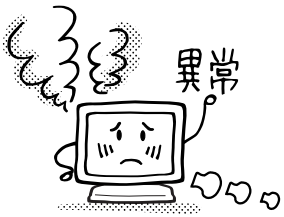
安全にご使用いただくために 1
ご使用の前に 7
　特長 7
　標準付属品 7
　アーム / スタンドの使用 8
　スタンドの取り付け / 取り外し 10
　各部のなまえ 11
　コンピュータとの接続 12
　コンピュータとの接続解除 13
　コンピュータの設定 13
　モニタの高さ / 角度調節 14
操作手順 15
　調整メニューの内容 16
　画面の調整 22
　スタンバイ機能 24
故障かなと思ったら 25
クリーニング 26
アフターサービス 27
　保証書 / 保証期間について 27
　修理サービス 27
　リサイクル / 廃棄について 27
付録 28
　一般仕様：ProLite XUB2595WSU-B5J 28
　外形寸法図 29
　対応信号タイミング 30

本書に記載の注意事項に反するお取扱いによって生じた故障や損害は、保証期間内であってもサポート及び保証の対象外となります。

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

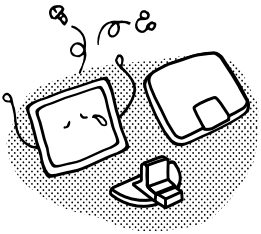
⚠警告





万一、異常が発生したら

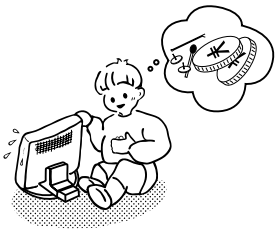
煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。





キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理は販売店または iiyama サポートセンターにご依頼ください。







異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
万一、異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。



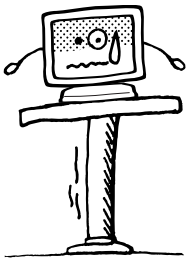




花びんやコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。
万一、水などが入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

⚠警告

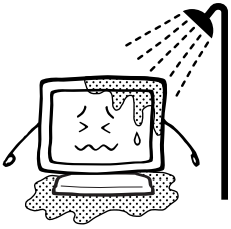


禁止

プラグを抜く

不安定な場所に置かない

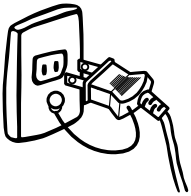
ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。
コードが傷んだらすぐに販売店または iiyama サポートセンターに交換をご依頼ください。

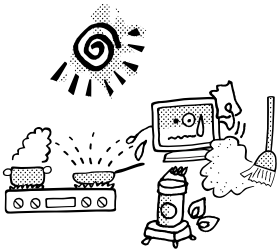


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠注意

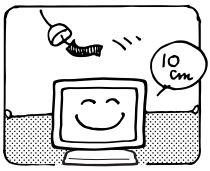


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



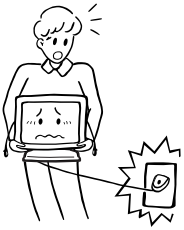
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

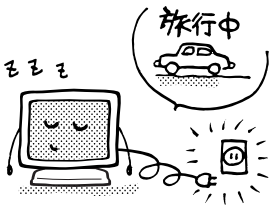
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から 10cm 以上離して置いてください。スタンドを取り外して使用するときも、モニタ背面の通風孔をふさがないように十分なスペースを確保してください。



指示に従う

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

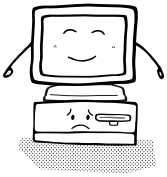
電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



指示に従う

旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



指示に従う

コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠注意



指示に従う

プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

指示に従う

手や指に注意！

ケガの原因となることがあります。

- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。
- 高さ調節の際、モニタ下部とスタンドの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。（高さ調節機能付きの機種をご使用のとき）

指示に従う

24 時間連続使用しないで

本製品は、24 時間連続使用することを前提として設計されておりませんので、24 時間連続して使用しないでください。

指示に従う

天井や壁への取り付けはできません

本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント（壁掛け）等によるデジタルサイネージ（電子看板）用途には対応しておりません。

指示に従う

モニタを下方向へ傾けすぎない

モニタを下方向へ調節範囲を超える角度に傾けて使用しないでください。液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。

指示に従う

モニタにアルコールや消毒薬を使用しない

モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

⚠注意



液晶パネル表面上のフィルムを剥がさないで

本製品は、液晶パネル表面に保護フィルムの貼り付けはしておりません。
液晶パネル表面上のフィルムを誤って剥がしてしまうとケガや故障原因等になりますので決して剥がさないようにしてください。
万が一剥がしてしまった場合は保証期間内でも有償修理となってしまいますので、お取り扱いには十分ご注意ください。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約 40 ～ 60cm はなれたくらいが見やすくて疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源をいったん切り、再度電源を入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニタは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像 (焼き付きのような症状) が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
  ・画面の表示パターンを変える。　・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。
  画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店または iiyama サポートセンターまでお問い合わせください。

液晶画面の焼き付きを防ぐために

同じ画面を長時間表示させていると、画面の焼き付き（残像）を起こすことがあります。

液晶画面の焼き付きを防ぐため：

- 動きのある画像や全白画面のスクリーンセーバーを使用してください。
- 定期的にデスクトップ画面の背景を変えてください。
- 液晶画面の明るさを、控えめな明るさに設定してください。
- パソコンを使用しないときは、液晶モニタの電源をオフにしてください。

液晶画面に焼き付きが起こってしまったら：

- 数時間液晶モニタの電源をオフにしてください。
- スクリーンセーバーを全黒画面か全白画面に設定し、数時間スクリーンセーバーを表示させたままにしてください。

ご使用の前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。
また、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 最大 1920 × 1200 モードをサポート
- ◆ 高コントラスト 1000:1(標準), Adv. Contrast 機能有 / 輝度 300cd/m^2(標準) / 高速応答速度 4ms(グレー←→グレー) の高性能パネル採用
- ◆ AMD FreeSync™ テクノロジー (DisplayPort 入力経由)
- ◆ フリッカーフリー対応
- ◆ ブルーライト軽減機能搭載
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能
- ◆ 2W + 2W 出力のステレオスピーカー内蔵
- ◆ 省電力設計
  国際エネルギースタープログラム
  スタンバイ機能搭載
- ◆ VESA マウント規格 (100mm × 100mm) 対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のものが全て含まれていることをご確認ください。

■ 電源コード (AC100V 用)*　■ VGA(D-sub) 信号ケーブル　■ HDMI ケーブル
■ DisplayPort ケーブル　■ USB ケーブル　■ オーディオケーブル
■ スタンドネック　■ スタンドベース (ネジ付き)　■ ドライバー (L 型)
■ セーフティ & クイックスタートガイド / 保証書

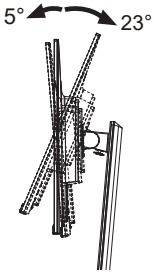
補足 * 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。
また、次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合
■ 日本以外の国でお使いになる場合
サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

アーム / スタンドの使用

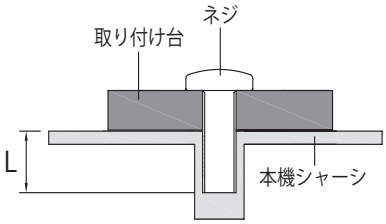
⚠ 注意

- 本製品は、デスクトップでの使用を目的として設計されており、天吊りやウォールマウント (壁掛け) 等によるデジタルサイネージ (電子看板) 用途には対応しておりません。
- 取り付けの前に、ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドが、モニタを取り付けるのに十分な強度があることを確認してください。
- モニタの角度調節範囲を上方向 23°、下方向 5°の範囲内でご使用ください。この範囲を超えて、上向きや下向きにして使用することはできません。
- モニタを下方向へ 5°を超える角度に傾けて使用 (設置) すると、液晶パネルが剥がれて落下し、損傷するおそれがあります。また、このような場合はサポート及び保証の対象外となります。
- 定期的にネジの締め付けを確認してください。締め付けが不十分な場合、モニタが外れ、けがや故障の原因になります。



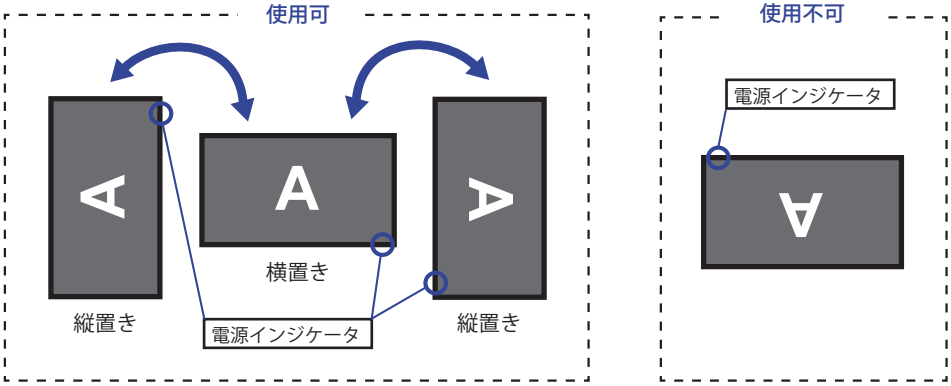
< ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドを使用する場合 >

■ ディスプレイアームまたはデスクアームスタンドをご使用になる場合は、取り付け台の厚さを考慮の上、L 部の長さが 7mm となる M4 ネジ (4 個) を使用して、しっかりと固定してください。指定の長さを超えるネジを使用すると、モニタ内部の電気部品に接触し、感電または故障の原因となることがあります。



< 画面の回転 >

本製品は、横置きと縦置きで使用できるように設計されています。
画面を縦置きで使用するには、縦置き表示に対応したビデオカードが必要です。



スタンド取り付け時：

補足 ■ 画面を回転させる前に、モニタの高さを最大にしてください。
■ 無理に回転させようとすると、回転機構を破損する原因になります。

スタンドの取り付け / 取り外し

⚠ 注意

■スタンドの取り扱いは安定した台の上で行ってください。モニタが転倒・落下してけがや故障の原因となります。

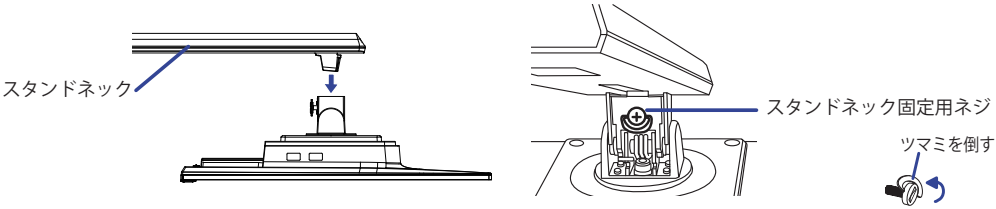
■モニタに強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

■スタンドの取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となります。

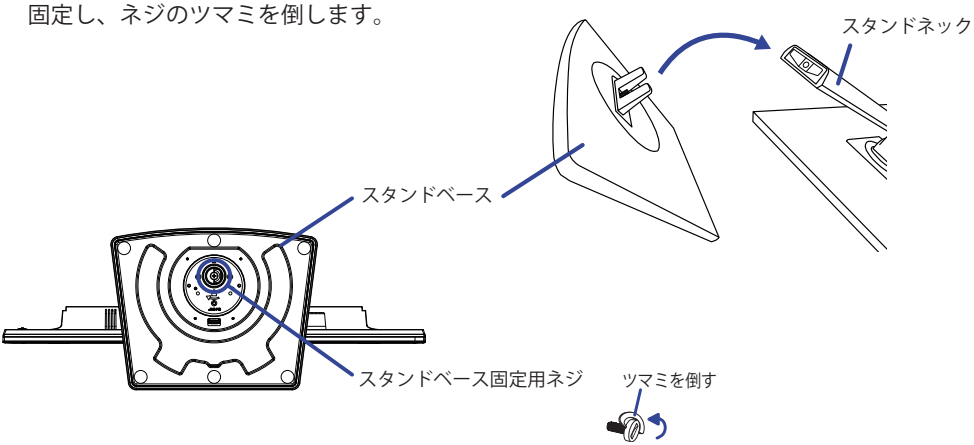
< 取り付け >

①平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

②モニタの背面にスタンドネックを取り付け、付属のドライバーを使ってスタンドネック固定用ネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。



③スタンドベースをスタンドネックに差し込み、スタンドベースに付属の固定用ネジを締めて固定し、ネジのツマミを倒します。



< 取り外し >

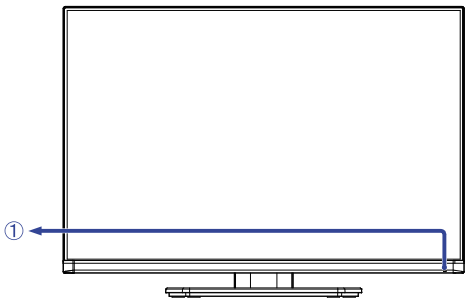
①平らで安定した台の上に、モニタの画面が傷付かないようにやわらかい布を敷き、モニタの画面を下にして置きます。

②スタンドベース固定用ネジのツマミを起こしてネジを緩め、スタンドネックからスタンドベースを取り外します。

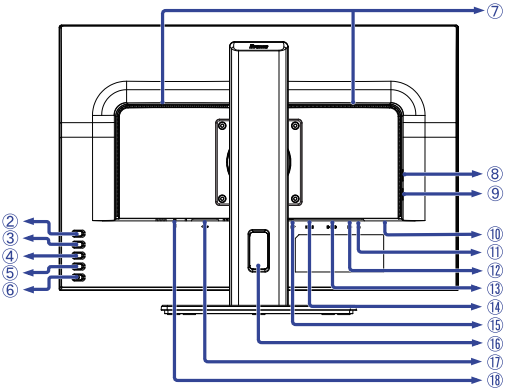
③付属のドライバーを使って、スタンドネック固定用ネジを緩め、モニタからスタンドネックを取り外します。

各部のなまえ

前面



後面



① 電源インジケータ

補足 青色点灯：通常動作時
橙色点灯：スタンバイモード

② 自動調整 / 入力選択ボタン *1 (AUTO)

③ マイナス / エコモードボタン *1 (–)

④ プラス / 音量調整ボタン *1 (+)

⑤ メニューボタン (MENU)

⑥ 電源ボタン (⏻)

⑦ スピーカー

⑧ USB-DOWN コネクタ *2 (⇜ : 5V, 500mA)

⑨ USB-DOWN コネクタ *2 (⇜ : 5V, 500mA)

⑩ USB-UP コネクタ *3 (⇝)

⑪ ヘッドホンコネクタ (🎧)

補足 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。

⑫ 音声入力コネクタ ( )

⑬ VGA(D-sub) ミニ 15 ピンコネクタ (D-SUB)

⑭ HDMI コネクタ (HDMI)

⑮ DisplayPort コネクタ (DP)

⑯ ケーブルホール

⑰ 電源コード接続コネクタ (～ : 交流)

⑱ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

*1 メニュー画面を表示する手間を省き、ボタン操作で直接設定 / 調整画面に入ることができます。
*2 USB 対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。
*3 付属の USB ケーブルで USB 対応コンピュータと接続します。

コンピュータとの接続

⚠ 警告

■ 安全のため、必ずアースリード (黄 / 黄緑) を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

■ アースリードをコンセントに挿入，接触させないでください。火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニタやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

■ 付属のケーブル以外のケーブルを使用すると不具合が発生することがあります。

① モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。

② アナログ入力で使用する場合は VGA(D-sub) 信号ケーブル、デジタル入力で使用する場合は DisplayPort ケーブルを、モニタとコンピュータに接続します。

補足 ■ 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

■ 1 台のコンピュータに VGA(D-sub) 信号ケーブルと DisplayPort ケーブルを一緒に接続しないでください。不具合が発生することがあります。

③ HDMI 接続ができる AV 機器を使用する場合は、HDMI ケーブルをモニタと AV 機器に接続します。

④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器に接続します。アナログ入力時のみ有効です。

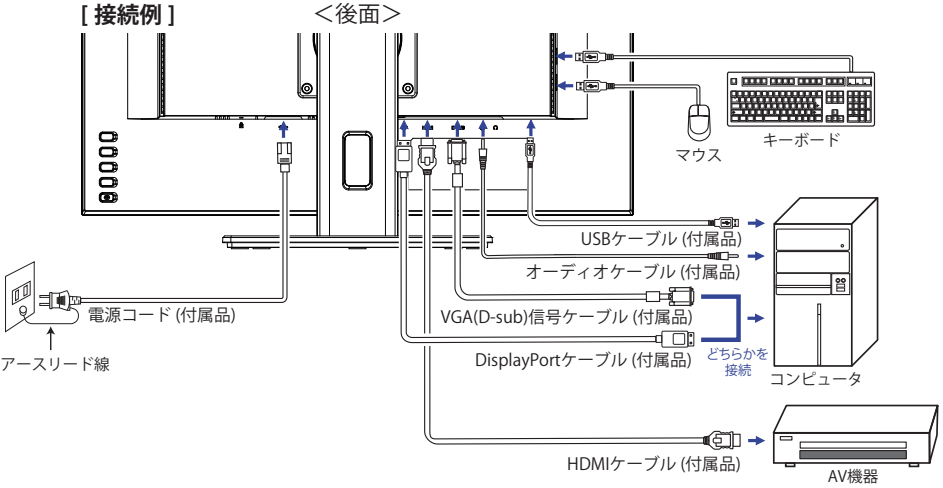
⑤ USB 機能を使用する場合は、USB ケーブルの ▭ コネクタをモニタに、USB ケーブルの ▬ コネクタをコンピュータに接続します。外付けの大容量 HDD を使用する場合は外部電源が必要です。必ず電源に接続してください。

⑥ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

⑦ モニタおよびコンピュータの電源を「オン」にします。

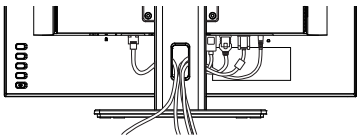
日本語

[接続例]



[ケーブルをまとめる]

ケーブル類をケーブルホールに通して、図のようにまとめます。



コンピュータとの接続解除

①モニタおよびコンピュータの電源が「オフ」であることを確認します。
②電源コードをコンセントから取り外し、次にモニタから取り外します。
③信号ケーブルをコンピュータとモニタから取り外します。
④オーディオケーブルをモニタとオーディオ機器から取り外します。

コンピュータの設定

■信号タイミング
本製品がサポートしているお好みの解像度（P.30「対応信号タイミング」参照）に設定してください。

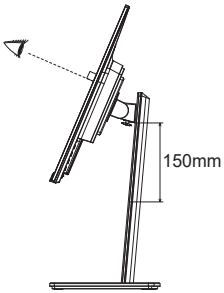
モニタの高さ / 角度調節

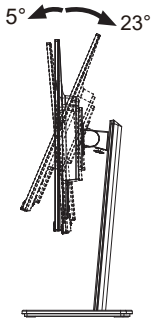
⚠注意

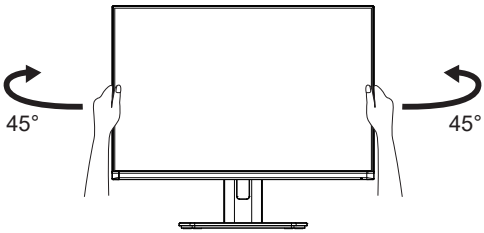
- **高さ / 角度調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。**
- **高さ / 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。**
- **高さ調節の際、モニタ下部とスタンドベースの間に手を入れているときに、モニタを勢いよく下げないでください。ケガの原因となることがあります。**



- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。
- 高さ調節や角度調節の際は、モニタの左右を持って行ってください。
- 高さ調節範囲は 150mm、角度調節範囲は左右各 45°、上方向 23°、下方向 5°です。







操作手順

P.30 の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。
メニュー画面の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

① **MENU ボタンを押すと、メニュー画面 (OSD) が表示されます。＋ / － ボタンでメニューページを選択します。**

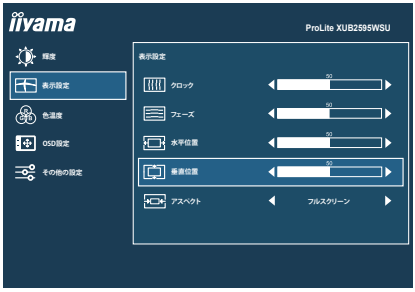


② **調整したいアイコンがあるメニュー項目を選択し、MENU ボタンを押します。 ＋ / － ボタンで調整する項目を選択します。**

③ **再び MENU ボタンを押し、＋ / － ボタンを使って調整や設定を行っていきます。**

④ **AUTO ボタンを押して終了します。**
メニュー画面が消えると調整や設定の内容を自動的に記憶します。

例えば垂直位置を調整したいときは、まずメニュー項目の **表示設定** を選択し、MENU ボタンを押します。次に ＋ / － ボタンで **垂直位置** を選択し、MENU ボタンを押します。
調整画面が表示されますので、＋ / － ボタンでお好みの画面に調整します。



最後に AUTO ボタンを押して終了し、設定を記憶させます。

補足

■ 調整中にボタン操作を中止すると、**OSD タイムアウト** の設定時間後にメニュー画面が消えます。また、AUTO ボタンを押すと 1 つ前の画面に戻り、メニュー画面を消すことができます。

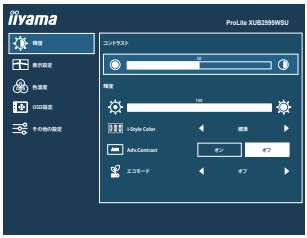
■ メニュー画面が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「オフ」にしないでください。

■ 画面位置，クロック，フェーズの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以 外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語(Language)で日本語表示を選択した場合を黒色、英語表示を選択した場合を青色にて記載しています。

輝度 Luminance



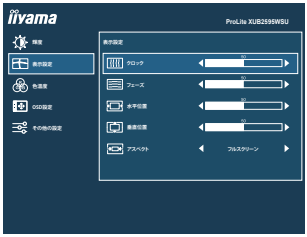
調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
コントラスト Contrast	弱すぎる 強すぎる	
輝度 *1 Brightness	暗すぎる 明るすぎる	
i-Style Color *2 i-Style Color	標準 Standard	標準
	テキスト Text	文章を作成するときなどに最適です。
	インターネット Internet	インターネットを使用するときなどに最適です。
	ゲーム Game	ゲームをするときなどに最適です。
	ムービー Movie	映画を鑑賞するときなどに最適です。
	スポーツ Sports	スポーツを観戦するときなどに最適です。
Adv. Contrast Adv. Contrast	オン On	コントラスト比を改善します。
	オフ Off	標準
補足 Adv. Contrast とは映像に応じて明るさを調節し、動画再生時にコントラスト比を改善する機能です。Adv. Contrast 機能使用時は、コントラスト, 輝度, i-Style Color, エコモード, 色温度 , Blue Light Reducer の調整 / 設定はできません。		
エコモード Eco ダイレクト調整	オフ Off	ノーマル
	Mode1	バックライトの明るさを抑え、消費電力を低減します。
	Mode2	Mode1 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に低減します。
	Mode3	Mode2 よりバックライトの明るさを抑え、消費電力を更に低減します。

*1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、輝度を調整してください。
*2 Blue Light Reducer を設定しているときは選択できません。

ダイレクト調整 メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

● エコモード：メニュー画面を表示していないときに、－ ボタンを押します。

表示設定
Image Settings



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
クロック *1,2 Pixel Clock	画面サイズが小さい 画面サイズが大きい	
フェーズ *1,2 Phase	模様、文字がにじんだりちらついている	
水平位置 *2 Horizontal Position	左によっている 右によっている	
垂直位置 *2 Vertical Position	下によっている 上によっている	
アスペクト Aspect Ratio	フルスクリーン Full	拡大表示
	アスペクト Aspect	アスペクト比に拡大表示

*1 調整方法および手順については、P.22「画面の調整」を参照してください。
*2 アナログ入力のみ

色温度 *
Color Settings

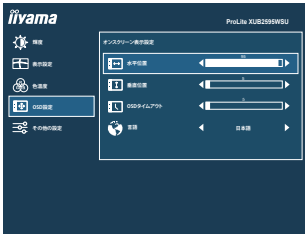


調整項目	画面の状態 / 調整ボタン		
Gamma Gamma	Gamma1	ノーマル	
	Gamma2	ハイコントラスト	
	Gamma3	ダーク	
6- カラー 6-Axis	色あい Hue	赤 Red	弱すぎる ＋ 強すぎる － (Red / Yellow / Green / Cyan / Blue / Magenta)
	彩度 Saturation	赤 Red	弱すぎる ＋ 強すぎる － (Red / Yellow / Green / Cyan / Blue / Magenta)
色温度 Color Temp.	ウォーム Warm	暖色	
	ノーマル Normal	標準	
	クール Cool	寒色	
	ユーザー User	Red Green Blue	弱すぎる ＋ 強すぎる －
	sRGB		

補足 ■ sRGB とは、機器間の色再現 (色彩、彩度等) の違いを規定・統一した国際規格です。
■ sRGB を選択すると、コントラスト，輝度，i-Style Color，Adv. Contrast，エコモード，Gamma，6- カラー , Blue Light Reducer の調整 / 設定はできません。

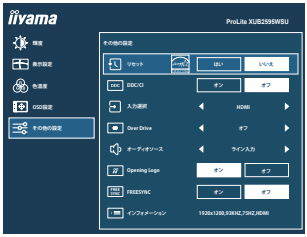
* Blue Light Reducer を設定しているときは選択できません。

OSD 設定
OSD



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン			
水平位置 OSD Horizontal Position	OSD が左によっている OSD が右によっている			
垂直位置 OSD Vertical Position	OSD が下によっている OSD が上によっている			
OSD タイムアウト OSD Time	5 ～ 100 秒までの間で OSD のオフタイマーを設定します。			
言語 Language	English	英語表示	Polski	ポーランド語表示
	Français	フランス語表示	Русский	ロシア語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	日本語	日本語表示
	Nederlands	オランダ語表示		

その他の設定
Extra



調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
リセット Reset	はい Yes	工場出荷設定に戻します。
	いいえ No	メニューに戻ります。
DDC/CI DDC/CI	オン On	DDC/CI をオンにします。
	オフ Off	DDC/CI をオフにします。
入力選択 Signal Select ダイレクト調整	自動 Auto	映像入力を自動的に切り替えます。
	D-SUB	映像入力をアナログ入力に切り替えます。
	HDMI	映像入力をデジタル (HDMI) に切り替えます。
	DP	映像入力をデジタル (DisplayPort) に切り替えます。
補足 自動に設定している場合、どれか 1 種類の入力されている信号を自動的に選択します。 個別入力に設定している場合、信号入力は固定となり自動選択しません。 また、複数の入力信号があり、かつモニタの電源をオフ - オンしたときは、前回の入力以外の信号に切り替えることがあります。前回の入力にしたい場合は、個別入力を設定します。		
Over Drive *1 OverDrive	オフ / -2 / -1 / 0 / +1 / +2 レベルが上がると応答速度が速くなります。	
オーディオソース *2 Audio Source	HDMI	音声入力を HDMI 入力に切り替えます。
	DP	音声入力を DisplayPort 入力に切り替えます。
	ライン入力 LINE IN	音声入力をライン入力に切り替えます。
Opening Logo Opening Logo	オン On	電源を入れたときに、ロゴを表示します。
	オフ Off	電源を入れたときに、ロゴを表示しません。
FREESYNC *3 FreeSync	オン On	FreeSync 機能をオンにします。
	オフ Off	FreeSync 機能をオフにします。
インフォメーション Information	コンピュータのグラフィックカードから入ってくる現在の入力信号関連の情報を表示します。 補足 解像度とリフレッシュ速度の変更に関する詳細については、グラフィックカードのユーザーガイドをご覧ください。	

*1 レベル（Mode）によって残像が残る場合があります。
*2 映像入力を HDMI または DisplayPort に切り替えたときのみ選択可能。
*3 DisplayPort 入力のみ

ダイレクト調整 メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定画面に入ることができます。

● 入力選択：メニュー画面を表示していないときに、AUTO ボタンを押します。
下記画面が表示されますので、再度 AUTO ボタンを押して入力信号を選択し、MENU ボタンを押します。



ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接設定 / 調整画面に入ることができます。

● 音量調整：メニュー画面を表示していないときに、＋ボタンを押します。

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン
音量調整	音量が小さい 音量が大きい

● Blue Light Reducer *： メニュー画面を表示していないときに、＋ ボタンを 3 ～ 4 秒間押します。

調整項目	画面の状態	
Blue Light Reducer	オフ	標準
	Mode1	ブルーライトを軽減します。
	Mode2	ブルーライトを Mode1 より軽減します。
	Mode3	ブルーライトを Mode2 より軽減します。

* i-Style Color, Adv.Contrast または sRGB が設定されているときは選択できません。

アナログ入力のみ

● 自動調整 *：メニュー画面を表示していないときに、AUTO ボタンを 3 ～ 4 秒間押します。

調整項目	画面の状態
自動調整	水平 / 垂直位置 , クロック , フェーズ , の 4 項目を自動で調整します。

* この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.22「画面の調整」を参照してください。

● ロックモード

< OSD >

モニタの電源が切れた状態で、MENU ボタンを押しながら電源ボタン（⏻）を押して、ロックとロック解除を行います。

< 電源ボタンと OSD >

メニュー画面を表示していないときに、MENU ボタンを 10 秒以上押し続けて、ロックとロック解除を行います。

画面の調整

アナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

■本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
■本製品に搭載されている液晶パネルは、1920 × 1200 の解像度のときに最高の性能が発揮できるよう設計されています。1920 × 1200 未満の解像度では、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は 1920 × 1200 の解像度で使用することをおすすめします。
■拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
■コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
■調整は、電源を「オン」にして 30 分以上たってから行ってください。
■自動画像調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
■画面調整パターン以外では、自動画像調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

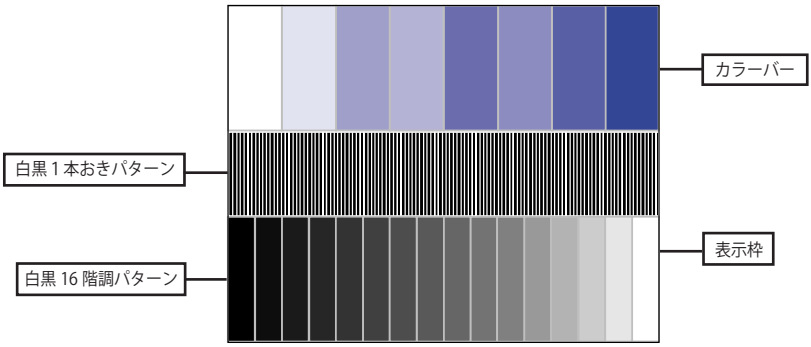
本製品には、画面の調整方法として位置 , クロック , フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、位置ずれがある場合は手動で微調整を行います。
いずれも、弊社ホームページ (URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/) からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows® OS を基準に説明しています。

①「画面調整プログラム」を起動します。

② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

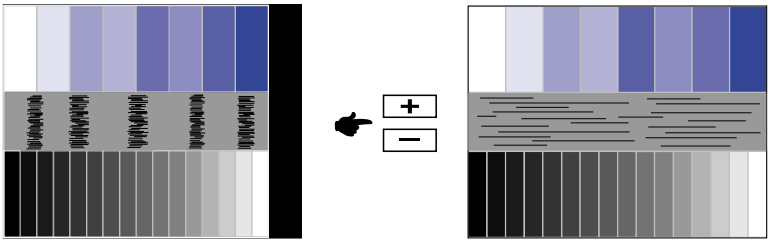
[調整パターン]



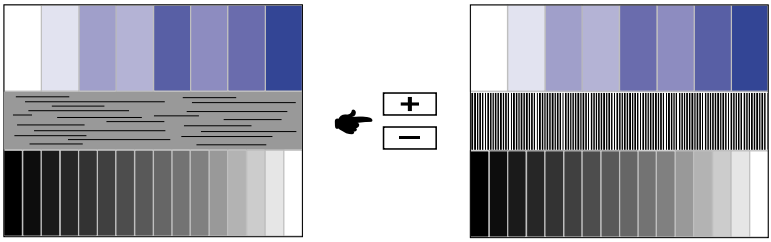
③ AUTO ボタンを約 3-4 秒間押します。(自動調整)

④ 自動画像調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。

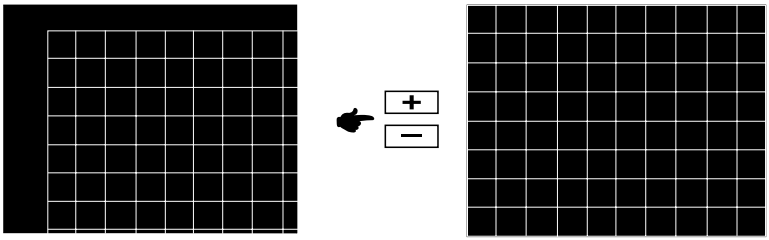
⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの垂直位置 , 水平位置にてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足
- ■クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、水平サイズと水平位置を交互に調整してください。
- ■クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- ■クロック , 垂直位置 , 水平位置を調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- ■クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
- ■フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。
- ■フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズの調整を終えてから水平位置にて調整してください。

⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューの輝度 , コントラストにて、調整パターン下部の白黒 16 階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。

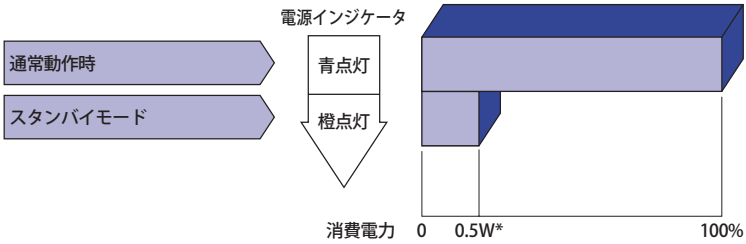
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

スタンバイ機能

本製品のスタンバイ機能は、一定時間コンピュータを使用しないときに、モニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能は次のモードを備えており、モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ スタンバイモード

コンピュータからのビデオ信号がオフ状態になると、スタンバイモード（消費電力 0.5W* 以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



* USB 機器未接続時

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1.「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は 2 へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。

症状	チェックポイント
① 映像が出ない (電源インジケータ点灯せず)	□ 電源コードが確実に接続されていますか？ □ 電源が「オン」になっていますか？ □ 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
(電源インジケータ青色)	□ ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
(電源インジケータ橙色)	□ スタンバイモードになっていませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。 □ コンピュータの電源は入っていますか？ □ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
② 画面が乱れている	□ 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
③ 画面の位置が片寄っている	□ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
④ 画面が明るすぎる／暗すぎる	□ コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑤ 画面が揺れる	□ 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。 □ コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
⑥ 音が出ない	□ オーディオ機器 (コンピュータ等) の電源は入っていますか？ □ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？ □ 音量調整が最小になっていませんか？ □ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑦ 音が大きい／小さい	□ オーディオ機器の音声出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？
⑧ 異音がする	□ オーディオケーブルが確実に接続されていますか？

クリーニング

⚠警告

■万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または iiyama サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

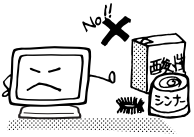
■安全のため、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。感電の原因となることがあります。

⚠注意

■モニタにアルコールや消毒薬等を直接吹き付けたり、モニタの近くで使用しないでください。また、アルコールや消毒薬等を含んだ布やシート等でモニタを拭かないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

■モニタ (液晶パネル / キャビネット / コネクタ端子) や付属品を傷めないために、次の溶剤やクリーニングシート等は使用しないでください。キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。

ベンジン、シンナー、アルコール、漂白剤、過酸化物、アセトン、塩化メチレン、トルエン、アンモニア、次亜塩素酸ナトリウム水溶液 (塩素系漂白剤)、
次亜塩素酸水、酸性 / アルカリ性の溶剤、ワックス、研磨剤、OA クリーナー、ガラスクリーナー、ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、化学ぞうきん、クリーニングペーパー等



補足

■液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■液晶パネルに水滴等をつけたまま放置しないでください。水滴等がついた場合はすぐに乾いた柔らかい布で拭きとってください。放置すると液晶パネルの変色や染みの原因になります。また、水分が内部に入ると故障の原因になります。

■キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●通常のお手入れ

柔らかい清潔な布でやさしく乾拭きしてください。
汚れがひどい場合は、水で十分に薄めた中性洗剤に浸してから固く絞った布で汚れを拭きとり、素早く乾いた柔らかい布で拭いてください。

●アルコール消毒について

アルコール消毒は、キャビネットの変色や変質、ひび割れ等の損傷、液晶パネル表面処理の損傷及び部品の劣化につながるおそれがあります。ご使用の前後に、モニタから離れた場所で手指消毒をするなどしてご対応ください。

やむを得ずモニタをアルコール消毒する場合は、上記の警告・注意事項について、あらかじめご了承ください。また、頻繁なアルコール消毒は避けてください。

アフターサービス

保証書 / 保証期間について

■本製品の保証書は、付属のセーフティ & クイックスタートガイドに記載されています。

■保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

■保証期限はお買い上げ日より 3 年間です。
尚、本製品を「ディスプレイ延長保証のお申込み」サイトからご登録頂くことで、保証期間を 5 年かつ製品使用時間 30,000 時間以内に延長いたします。
詳しくはサポートサイト：https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx をご覧下さい。
ただし、保証期間内でも有料修理とさせていただく場合があります。詳しくは、付属のセーフティ & クイックスタートガイドの＜保証条件＞をご確認ください。

修理サービス

■「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターへご連絡ください。

■修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ず iiyama サポートセンターまでご連絡ください。

■本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後 5 年間保有することを基本としております。しかし、部品によっては稀に 5 年間保有することができない場合や標準品とは違う同等品となる場合もございますのであらかじめご了承ください。また、補修用性能部品の 5 年間の保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店または iiyama サポートセンターにご相談ください。

■修理の際に弊社品質基準に適合した再生部品を使用することがございます。あらかじめご了承ください。

リサイクル / 廃棄について

■本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。

■製品を弊社以外へ廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

■本製品を一般家庭でご使用の場合は、弊社が業務委託しているリネットジャパンリサイクル株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。ただし、本製品を事業所でご使用の場合は、対象外となります。

■リサイクル / 廃棄の詳細については弊社ホームページをご覧いただくか、iiyama サポートセンターリサイクル受付へお問い合わせください。

リサイクル / 廃棄についてのお問い合わせ
iiyama サポートセンター リサイクル受付
TEL 03-6636-4312

このマークが表示されている弊社製品は、弊社が業務委託しているリネットジャパンリサイクル株式会社にて無償で回収・再資源化いたします。
詳細は弊社ホームページをご参照ください。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/brand/iiyama/

付録

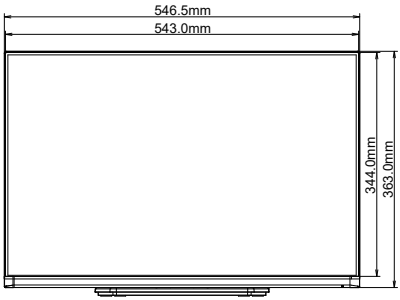
仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

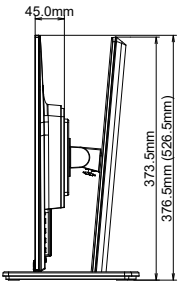
一般仕様：ProLite XUB2595WSU-B5J

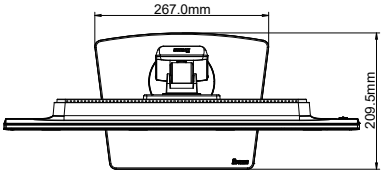
サイズカテゴリ		25 型
液晶パネル	パネル方式	IPS
	サイズ	対角 63.36cm（25 型）
	画素ピッチ	水平 0.279mm ×垂直 0.282mm
	輝度	300cd/m^2（標準）
	コントラスト比	1000：1（標準），Adv. Contrast 機能有
	視野角	左右上下各 89°（標準）
	応答速度	4ms (グレー←→グレー)
最大表示色		約 1677 万色
走査周波数		アナログ：水平：30 ～ 89kHz　垂直：50 ～ 75Hz デジタル (HDMI)：水平：30 ～ 85kHz　垂直：50 ～ 75Hz デジタル (DisplayPort)：水平：30 ～ 85kHz　垂直：48 ～ 75Hz
解像度		1920 × 1200（最大），2.3MegaPixels
サポートされている最大解像度		VGA : 1920 × 1200, 60Hz HDMI : 1920 × 1200, 60Hz DisplayPort : 1920 × 1200, 75Hz
信号入力コネクタ		VGA(D-sub) ミニ 15 ピンコネクタ , HDMI コネクタ , DisplayPort コネクタ
入力同期信号		セパレート同期：TTL，正極性／負極性
入力映像信号		アナログ：0.7Vp-p（標準），75 Ω，正極性 デジタル：HDMI, DisplayPort
USB 規格		USB2.0 (DC5V, 500mA)
USB 内蔵ポート コネクタ形状		1 Up stream：シリーズ B 2 Down stream：シリーズ A
音声入力コネクタ		ø 3.5mm ステレオミニジャック
入力音声信号		1.0Vrms（最大）
ヘッドホンコネクタ *1		ø 3.5mm ステレオミニジャック
スピーカー		2W × 2（アンプ付きステレオスピーカー）
最大表示範囲		水平：535.4mm　垂直：338.7mm
入力電源		AC100 ～ 240V 50/60Hz 1.5A
消費電力 *2		28W（標準） スタンバイモード：0.5W (最大), オフモード：0.3W (最大)
外形寸法 , 重量		546.5 (幅) × 376.5 ～ 526.5 (高) × 209.5 (奥行)mm, 5.0kg
高さ調節範囲		150mm
角度調節範囲		チルト　上方向：23°, 下方向：5° スウィーベル　左右方向：各 45° 回転　時計回り／反時計回り：各 90°
環境条件		動作時：　温度　5 ～ 35℃ 湿度　10 ～ 80%（結露なきこと） 保管時：　温度　－ 20 ～ 60℃ 湿度　5 ～ 85%（結露なきこと）
適合規格		TÜV, VCCI, PSE, 国際エネルギースタープログラム , グリーン購入法

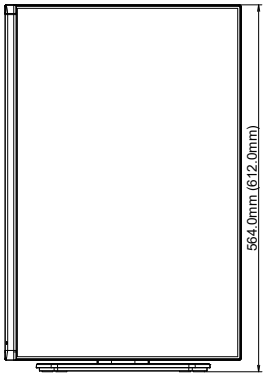
補足 *1 ヘッドホン以外の外部機器への接続はサポートしておりません。
*2 USB 機器未接続時

外形寸法図









(　)：高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード	水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
640 × 480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz	
	37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz	
	37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz	
800 × 600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz	
	37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	
	46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	
	48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz	
1024 × 768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	
	56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz	
	60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	
1280 × 1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz	
	79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz	
1440 × 900	55.935kHz	59.887Hz	106.500MHz	
1680 × 1050	65.290kHz	60.000Hz	146.250MHz	
1920 × 1080	66.590kHz	59.930Hz	138.500MHz	
1920 × 1200	74.038kHz	59.950Hz	154.000MHz	
	93.149kHz	74.940Hz	193.750MHz	*

補足 * DisplayPort 入力のみ

お客様の個人情報の管理および利用について

当社は、お客様の個人情報について、「個人情報の保護に関する法律」および「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」に準拠し、取り扱いを定めて、適切に管理，利用いたします。
当社が定める「個人情報保護方針」は、下記 URL からご確認ください。

URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/privacy/privacy.aspx

株式会社マウスコンピューター

● 製品の取り扱いおよび修理についてのお問い合わせ

iiyama サポートセンター

24 時間 365 日サポート対応
TEL　03-6636-4312
FAX　03-6636-4341

特定化学物質の含有情報は下記の弊社サイトに掲載しています。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support/jmos.aspx

サポートの最新情報 (連絡先等) は弊社サポートサイトに掲載しています。
お問い合わせの前に、サポートサイトにてご確認ください。
URL: https://www.mouse-jp.co.jp/store/iiyama/support.aspx